

放課後等デイサービス
事業所別認証評価受審の手引き
2017-2018



一般社団法人
日本発達障害ネットワーク

はじめに

日本発達障害ネットワーク

理事長 市川宏伸

発達障害は、平成 17 年に発達障害者支援法が施行されてから知られるようになりま
した。最近の報告では、代表的な発達障害だけで通常学級には 6.5%いるとされ、その
他の発達障害を合わせればそれをかなり上回ると推定されています。その程度も軽微な
方から、社会生活が困難になる重篤な方までさまざまです。

日本発達障害ネットワーク（JDDnet）は、当事者団体、職能団体、研究会・学会など
の全国団体及び地域で活躍するエリア会員から成り立っており、発達障害者とそのご家
族の権利・利益を擁護するため、理解啓発・調査研究・政策提言などを行い、発達障害
者の自立と社会参加の推進に向けて活動してきました。

近年共稼ぎ家庭の増加などに伴い、発達障害児をその中に含む児童・生徒が学校終了
後に放課後児童クラブ、放課後教室、放課後等児童デイなどを利用する傾向が大きくな
り、支援スタッフからは対応の難しさを訴える声も聞かれます。

JDDnet では、このような事業所の中で、発達障害児者の支援が十分行われるものを
対象に認証を行うこととしました。この事業を通じて、熱心に支援をしている事業所の
周知・紹介と支援スキルを向上させようと考えています。厚労省がガイドラインで示し
ている発達障害支援を前提に、これへの配慮に重点を置いて認証する内容にしたいと考
えています。JDDnet からの一方的なものではなく、私達の考えに賛同して下さる事業所
と一緒に、支援スキルの向上と、より専門的な支援をサポートしていきたいと考
えています。